

平成28年度 中洲小学校 教育研究計画

1 研究主題

基礎基本を大切にしながら、学び合う子どもの育成
～振り返りの充実を目指した算数科の授業づくり～

2 研究主題設定の背景

本校では、平成25年度から、岡山県小学校国語教育研究大会の指定を受けて、「自覚的なことばの学び手を育てる国語科授業の創造」を研究主題として、「読むこと」の領域において、文学的文章の指導の工夫・改善に取り組んできた。自覚的な学び手を育てることを目指し、自分の思いや考えを再構築する場である授業の振り返りを充実させ、自覚した学びが次からの自分の思いや考えをもつことに生かすことができるよう、日々の授業づくりに取り組んできた。3年間の取組を通して、教材文の言葉に深くかかわり、自分の考えをもって、主体的に読み、自分の考えを伝え合うことができる児童が育ってきた。また、平成27年全国学力・学習状況調査においても、国語A問題、B問題共に岡山県、全国平均を上回る結果を得ることができた。

しかし、算数科では、昨年度までの市・県・全国実施の学力調査の結果等から、身に付けた知識や技能を活用することができる児童がいる一方で、基礎的・基本的な知識や技能の習得が不十分な児童も多く見られることが明らかになっている。

そこで、本年度は、昨年度までの国語科での研究成果を生かしながら、算数科を研究教科に取り上げ、「基礎基本を大切にしながら、学び合う子どもの育成」を研究主題とし、研究を進めていくこととした。算数科においても、単元で児童に付けたい力を明確にし、学び合いの中でより良い考え方や数理的な処理のよさに気付かせ、児童がその授業で学んだことは何かをしっかりとつかませたい。自分の学びを自覚しながら振り返りを書き、次の学習や家庭学習、さらには生活場面につながるような授業づくりを研究していく。学び合う楽しさを大切に、「分かる喜び」や「できた達成感」などの学びの手ごたえを感じ取ることで、主体的に算数科の学習に取り組む児童を育てることができると考える。学ぶ楽しさを味わうことが確かな学力の向上につながると考え、本研究主題を設定した。

3 めざす児童の姿

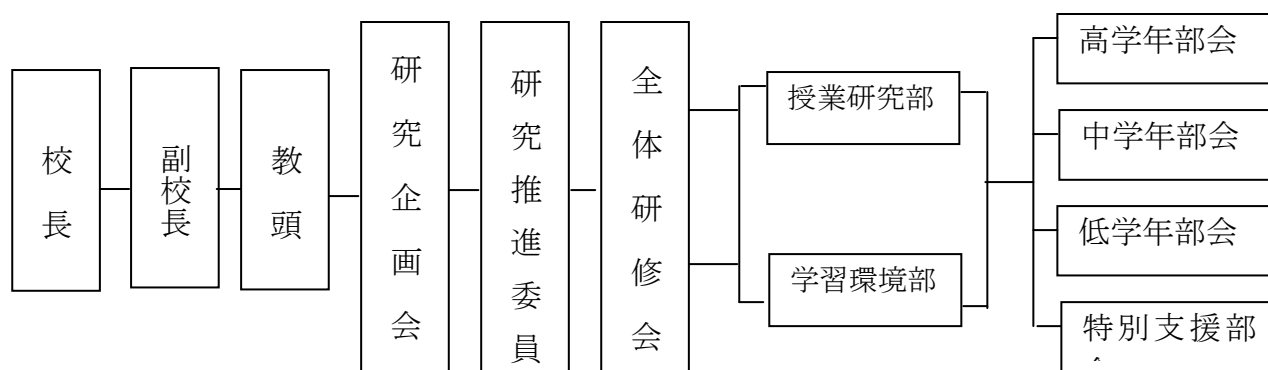
「基礎・基本を大切にしながら、共に学び合う児童」

低学年…学びの手ごたえを感じ取り、楽しく取り組む児童

中学年…学びの手ごたえを感じ取り、進んで取り組む児童

高学年…学びの手ごたえを感じ取りながら、主体的に活用することができる児童

4 研究組織



5 実施計画

月・日	教科・領域等	研究内容
4月	算数科	研究主題・研究組織・研究内容・研究計画について
7月7日	算数科	第1回 校内授業研究会（第3・6学年）
8月22日	算数科	校内夏季研修会
10月26日	算数科	第2回 校内授業研究会（第1・5学年）
1月23日	算数科	第3回 校内授業研究会（第2・4学年）
2月	算数科	研究の取組についてのまとめと反省
3月	算数科	次年度に向けての方向付け